

1. 研究者になろうとしたきっかけ

液体にふんわりと浮かぶ白い糸のような DNA を初めて見たとき、生命の神秘にすっかり魅了され研究の道に進みました。また、大学院時代に米国立がん研究所で行った研究がきっかけとなり、がん研究がライフワークとなりました。

2. 助成研究の内容紹介

私たちが開発した TNIK キナーゼ阻害剤 NCB-0846 は、骨肉腫細胞を脂肪細胞に分化転換させて抗腫瘍効果を発揮します。本薬剤を患者さんのもとへ届けるためには、さらに効果を高め、副作用を抑えた薬剤に改良する必要があります。本研究助成は NCB-0846 を改良し臨床開発を進めるための土台作りの研究に使用します。

3. 2 の将来に繋がる結果予想・目標

遠隔転移のある進行症例や術後再発・転移症例に対する新規骨肉腫治療薬の開発を目指します。骨肉腫患者の多くをしめる未来ある若年者に対して、新たな治療の選択肢を提供することが目標です。

4. 全国の RFL 関係者に一言

RFLJ の研究助成に採択頂き、光栄に存じます。実臨床で役立つ研究成果をあげることが、私の研究者として目標であり使命です。尽力して参ります。